

夕焼け色に抱く期待

3月18日、農業センターの試験ほ場（加木屋町）でかんきつ「夕焼け姫」の苗木100本の植栽が行われました。

「夕焼け姫」は県農業総合試験場で開発された独自の新品種で、本市の新たな特産品として産地化・ブランド化することを目的に、昨年4月ごろから試験栽培の企画・取り組みが進められてきました。今年度には市内の別のほ場で250本の植栽が予定されています。

東海市マルチ栽培夕焼け姫管理会会長・荒

谷芳興さんは「ブランド化に向け、若い後継者を探し、魅力ある農業を目指したい」と話しました。

鮮やかな赤橙色の果皮、甘くて皮がむきやすい「夕焼け姫」に期待が寄せられています。写真提供 東海市



▲「夕焼け姫」の苗木を植栽